

「アサガオの花の分解保存 (3)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

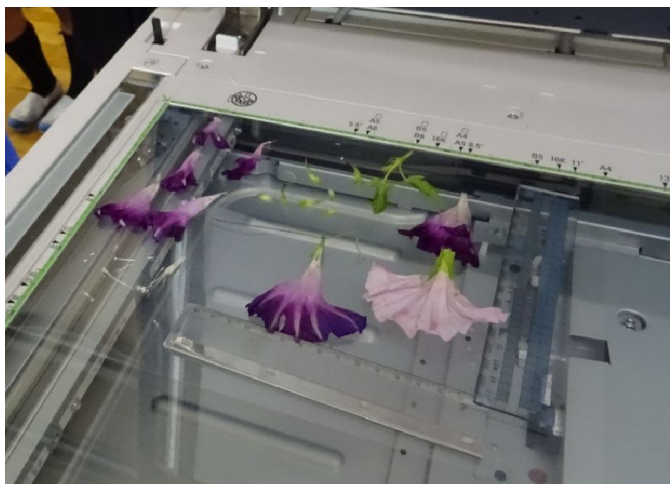
田中 千尋 Chihiro Tanaka



子どもたちが完成させた「標本」は四隅を持って、子どもたち自身がコピー機のあるTRまで運ぶ。下に画用紙を敷いたのは、この運搬の為である。



画用紙ごとそっとコピー機のガラスに置く。



その後、画用紙だけ引き抜くと、短時間でアサガオの花をコピー機に直接置いたのと同じ状態になる。コピー機の蓋を閉めると、花がつぶれるので、上に白い紙を置いて、蓋は閉めずにコピーすると良い。



これを141%拡大で、カラーコピーする。ものさしを置いたのは、もとの大きさがわかるようにする為だ。



めしべの柱頭から下部の子房までつながっている様子がよくわかる。おしべの先端(葯)についた花粉の一粒ずつまでよく写っている。これを研究所(班)の人数分コピーして、話し合わせた。結果を直接書き込んだあと、ノートに貼らせた。(2頁目拡大写真)

【子どものノートから】

「花をコピーできるなんて、とてもおどろきました。できあがったコピーを見たら、本物そっくりで、細かい毛とか花粉まで写っていて、もう一度おどろきました。花の中のしくみがよくわかりました」

